



獣医
学科

小動物第2内科学研究室

K E Y
W O R D

眼内炎症/薬剤送達システム/腎疾患
早期診断マーカー/腫瘍/高フェリチン血症

研 究
テ ー マ

眼内炎症の調節メカニズムと治療の研究
猫の診断マーカーの検索/腫瘍の機構解明と治療に関する研究

ミッション

眼科、腎臓と腫瘍疾患の新しい治療法開発への挑戦

我々は以下の3つの大きな柱を中心として研究を行っています。

- ・ 眼内炎症は、全身性の感染症、免疫異常、中毒性など様々な原因により起こります。そのため我々は、眼の炎症がどのように起こるかを研究し、得られた知識を新たな点眼治療などに生かす研究を行っています。
- ・ 猫は歳を取ると腎臓の病気になることが多い動物です。そのため我々は腎臓病を早期に診断することで、病気を防ぐあるいはその進行を遅らせる研究を日々行っています。
- ・ 腫瘍は生物にとって生命を脅かす怖い病気の一つです。そのため我々は、腫瘍が体に及ぼす影響を明らかにすることで、新しい治療法を開発することを目標に研究を行っています。